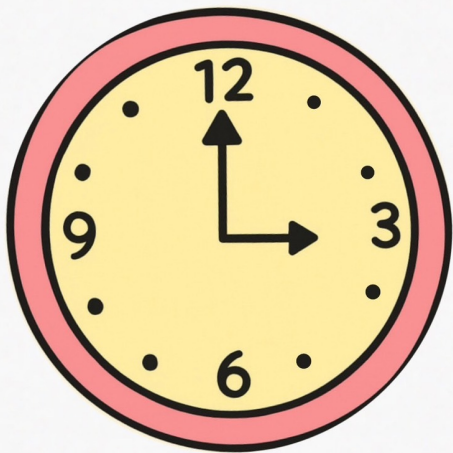


ゆうさくくんの ふしぎなおやつじかん

作：KGよんはん3代目







ゆうさくくんは、3じのおやつのはじがだいすき。

今日は、おかあさんがショートケーキと、あったかいコーヒーをよういしてくれました。

テーブルの上を見ると

コーヒーカップのよこで、手足がはえた小さいコーヒー豆がよだれをたらしてスヤスヤねています。

「えっ...だれ!？」

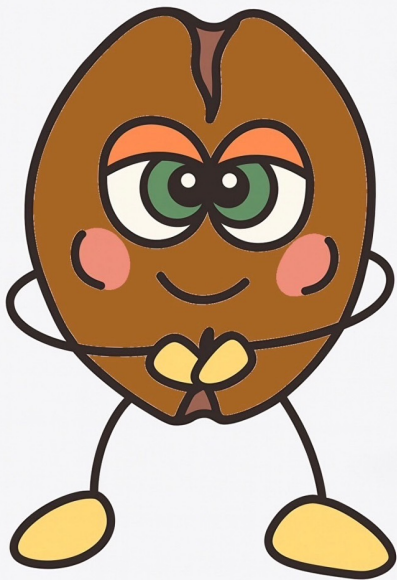
ゆうさくくんは、そっと手のひらにのせました。

ファ!!



コーヒー豆はハッと目をさまし、
ゆうさくくんの手からテーブルにとびおり、
じこしょうかいをしました。





やっほ

「ほ、ぼくはまめお！ マラウイって国のコーヒー豆なんだ！」

「きみに、だいじなお話をするためにまめこといっしょにマラウイから来たんだよ！」

「あれ？まめちゃんがいない！まめちゃんはどこー？」

ゆうさくくんが周りを見てみると、

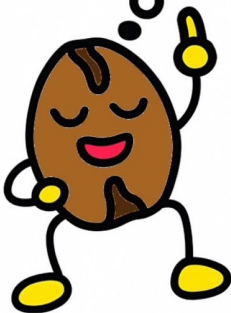


ゆうさくくんのネコのせなかに、まめこちゃんがのってあそんでいました！

まめこちゃんは手をふりながら、にっこり。



マラウイ



「マラウイってね、アフリカの右下にあるんだよ」

まめおくんが話しはじめました。

「湖や山があって自然豊かで素敵な国だけど
お金がなくてこどもたちが学校に行けなかったり、
ゆうさくくんと同じ小学生なのにはたらかさせ
られたりたいへんな思いをしていることもあるんだ。」

「そこでね！」

まめおくんは胸をはって言いました。

「ゆうさくくんのおかあさんが買ったチャリティーコーヒーには、
マラウイのこどもたちを助けるお金が入ってるんだ！」

「えー！どうやって助けられるの?!」

ゆうさくくんはびっくりして聞きました。



ゆうさくくんのママが払った
 お金はマラウイに送られて、
 マラウイのとうもろこし農園で
 働く人たちのお給料になるんだ！
 そこで育てられたとうもろこしで
 ご飯を作って、マラウイの子供たちが
 通う小学校で給食として無料で配られるんだ！
 つまり！ゆうさくくんのお母さんが払った
 お金はマラウイの子供たちの給食になるんだ！
 ゆうさくくんが学校で食べているような、
 おかずがたくさんある給食じゃないけれど、
 マラウイの子どもたちはおなかをしっかりと
 満たすことができるんだ！
 そしてね、
 給食がもらえるから学校に行かせてあげよう
 と考えるおうちの人がふえて、小学校に通え
 る子どもたちも少しずつ多くなっていくんだ！

ゆうさくくんは「すごいね……！」と目を丸くしました。

その時、ゆうさくくんがぼつり。

「でも……コーヒーって、ちょっと

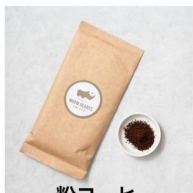
苦いよね。たくさん飲めないや、」



紅茶



アールグレイティー



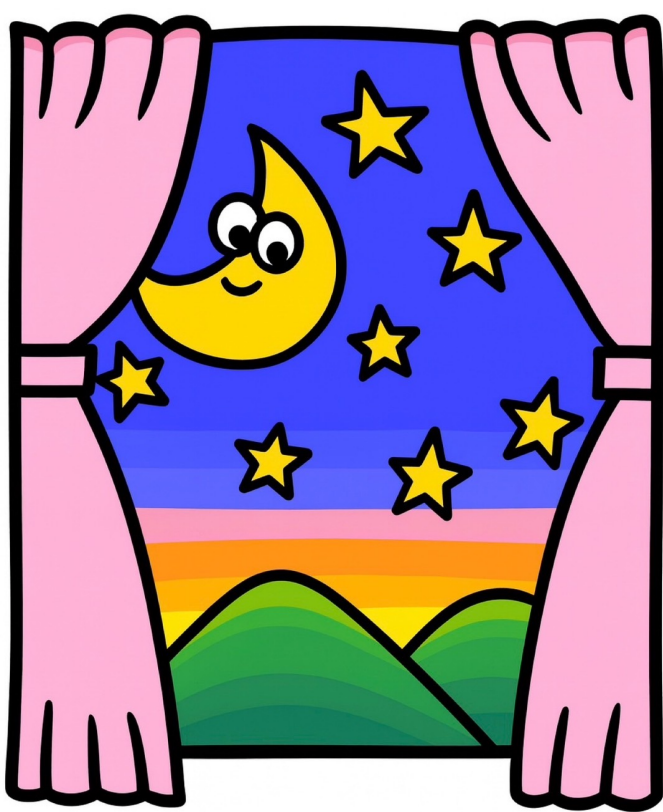
粉コーヒー



ドリップコーヒー



「コーヒー豆だけでなく、
コーヒーの粉とか、簡単にいれられるドリップコーヒーとか、
いろんな商品があるの！コーヒー豆ひとつくろ買ってもらうと
70人分の給食になるのよ！ぜひおかいもとめください！」
まめこちゃん、お店屋さんさんみたいなしゃべり方で
うきうきおしゃべりをつづけます。

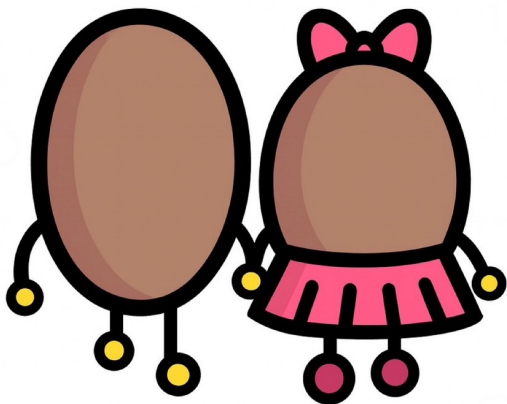


たくさんおしゃべりをしたのでもうお月さまがでできました。

「もうこんな時間か！つぎの子にも伝えに行かなきゃ！」

まめおくんが手をふります。

「行くわよ、まめお〜！」



まめこちゃんがネコからびょんととびおり、手をつなぎます。

ふたりは、ちいさな足でトコトコと、窓の外へきえていきました。

ゆうさくくんはそっとコーヒーを一口。

「なんだか.....今日のコーヒーは、あったかい気がする。」





🔍 ウォームハーツコーヒー